

みんなの笑顔で心と心をつないで歌おう

11月28日（水）、刈谷市総合文化センターで145音楽会を開催しました。どの学年の子どもたちも、これまでの練習の成果を十分に発揮し、堂々とそして心をこめて歌声を届けました。



2年 チャレンジ ～ぼくも、わたしもできるよ～

心をついに 2年松組 宮本 のあ
音楽会は、2年生みんな心をついにしてできたので、とてもすばらしいえんそうになったなと思います。おきやくさんがいっぱいいたからドキドキきんちょうしたけれど、お母さんやおばあちゃんが見てくれたからがんばれました。みんなもがんばって歌っていて、わたしは心があったかくなってゆう気が出ました。いいえがおできれいな声が出せたのでうれしかったです。みんなの心をつないで2年生の歌声がとどけられたと思います。

がんばったおんがくかい 1年桃組 花野 瑛都
ぼくは、1年生のみんなとあおいとりさがそうをやりしました。ぼくは、ときのおじいさんのやくをしました。1ばんがんばったのは、うたとことばのきょうじやくとしせいです。ともだちに、ことばのきょうじやくをおしえてもらいました。おじいさんになりきって、がんばりました。本ばんは、ドキドキしました。れんしゅうのせいかを出して、いどみました。本ばんが、1ばんたのしくできました。らい年も、うたやセリフをがんばりたいです。



1年 しあわせいっぱい



5年 つながる命～今を生きるわたしたちからとどけ未来へ～

音楽会のアナウンス 5年松組 三原 佐織
私は145音楽会で音楽委員としてアナウンスをしました。初めてだったので、楽しみと心配な気持ちでした。まちがえないように家で何度も練習しました。音楽会前日に先生や音楽委員の人たちと体育館で練習した時、マイクで話すのはきんちょうすると分かりました。本番は練習の何倍もドキドキしたけれど、トイレの場所や席にもどる時間が伝わるようにはっきりとていねいに言いました。練習の成果を出しきれたので良かったです。

いい顔 いい声 いい心の音楽会

3年竹組 亀川 紗優

わたしは、音楽会をずっと楽しみにしてきました。1年生の時からなかなかえられなかったセリフなどに初めてえられたからです。わたしがえられたのは、歌のソロパートでした。さいしょの練習では、楽しみな気持ちがありました。ですが本番前のリハーサルではかっこよくポーズも決められたので本番にむけての自しんがわいてきました。本番では、少しきんちようしたけど、みんなといっしょにいい顔 いい声 いい心で歌えました。



3年 いい顔 いい声 いい心



4年 生きる～未来へ一歩ふみだそう～

リズムをとって音楽会 4年竹組 麻生 明良

ぼくは、手拍子ワンダーランドで、しき者をやりました。最初はターンタタタのリズムがむずかしかったです。なぜかという、みんなのペースにのってしまっただけです。もう一つは、おなかをたたくところです。みんなからはく力がすごくてつられてしまいそうになったからです。だから、つられないように心の中で1 2 3 4と唱えていました。その成果があって本番では、まちがえませんでした。5年生ではセリフをがんばりたいです。

一番心に残った音楽会 6年梅組 中川 友良

私は今年、初めてピアノの伴奏に挑戦しました。伴奏をやると決めてから、毎日家で練習をしました。

本番では、いつもとはちがう場所で緊張しました。さらに、「音を止めたらいけない」というプレッシャーもありました。だけど、友達や先生が「がんばって」など声をかけてくれたので、緊張しながらも良い演奏ができました。

最初は、無理かもしれないと思ったけど、あきらめずにやって良かったです。心に残る音楽会になりました。



6年 思い出を未来へ～仲間とのりこえてきたことを力にして～

開鍵式

12月1日(土)、平成20年度の卒業生が亀城小学校に集まり、開鍵式(かいけんしき)を行いました。卒業時に書いた、10年後の自分に宛てた作文を読みながら、成長を喜び合う行事です。

文禮の塔の前で、当時の塚崎校長先生からお話をいただいた後、作文を収めた箱の鍵を受け取った代表2名が作文を取り出すと、卒業生から拍手が起こりました。同窓会長の市川様、学年主任の関山先生にもごあいさつをいただきました。

この後、卒業生は多目的ホールに場所を移し、担任の先生方も交え、思い出の作文を読みながら、なごやかな雰囲気の中で旧交を温めました。



市川会長の来賓あいさつ